

岡山県立記録資料館 第78回所蔵資料展

新公開資料

会期 令和2年

6月2日(火) - 8月8日(土)

休館日：月曜日・7/23(木)・24(金)
新型コロナウイルス感染拡大の状況によって会期が変わることがあります。

公文書

30年前(平成元年度)の岡山にタイムスリップ!



健康の森「千人1万本植樹祭」
(平成元年度[1989])



おかもやま食と緑の博覧会(平成元年度[1989])



博覧会文書綴
(平成元年度[1989])

古文書

江戸時代～戦前の岡山を再発見!

疫病専流行
庶務専流

諸書上帳(安政6年[1859])



山陽高等女学校卒業アルバム「思ひ出」(昭和16年[1941])



元衆議院議員岡田忠彦扁額「穀献」
(昭和3年[1928])

〒700-0807
岡山市北区南方2-13-1

TEL 086-222-7838

開館時間 9時～17時

会場 岡山県立記録資料館
1階 展示コーナー

きろくる岡山・きろくる

岡山県立記録資料館
Okayama Prefectural Archives



入場
無料

岡山県立記録資料館

検索



今回展示する新公開の公文書は、平成元年度(1989) 完結の公文書です。

平成元年度は、昭和から平成へと時代が移り変わり、前年度に完成した瀬戸大橋の効果が、地域に波及しつつあったときです。

こうしたなか岡山県では、中四国の新たな経済文化圏の創造、个性的で均衡のとれた地域づくり、生きがいと豊かさが実感できる郷土づくり、「燃えろ岡山」県民運動の推進を重点施策として、県政を推進しました。

本展では、こうした事業に関わる公文書、行政刊行物、写真を展示します。



岡山県総合畜産センターがオープン

平成元年(1989)4月14日
公聴広報課引継写真1051

岡山県の畜産振興の新しい拠点施設となる県総合畜産センターが4月14日旭町(現美咲町)にオープンしました。この施設はこれまで3カ所に分散していた養鶏、酪農、和牛の各試験場の業務を効率的に行えるよう統合したものです。平成3年4月には県民ふれあい施設「まきばの館」を開園しています。

なお、このセンターは平成22年4月組織再編により県農林水産総合センター畜産研究所となっています。

健康の森「千人1万本植樹祭」プレス発表

「健康の森 植樹祭」
平成元年度(1989)
公文書(1992/阿新局/99)

従来から岡山県が整備を進めていた「健康の森」(現新見市)では、みんなでつくる「ほんものの森、ふるさとの森」にするため、6月11日に「千人1万本植樹祭」を実施することとし、参加者の募集をしています。

この事業は、成羽町(現高梁市)出身で当時横浜国立大学宮脇昭教授の指導のもとで行われました。



46つじ発表
民生労働福祉会館社説
刊 | 十美渡長、山田
当 | 内後2342, 2743

4 方法

1. プラックに区分した場所の樹上・盛土面等に植栽するとともに、民間等分等については、後日、苗木等によるマント管理(井畑において中・高木を保護する苗木)を形成して、あてやかえ保護とするなど、土地本来の自然環境に最も適した本物の緑を育成する。

(1) 工法

- ① 樹上面については、1mあたり3〜4本で、1.5m間隔の新植を行う。
- ② 盛土面等については、全面に1㎡あたり3〜4本のランダム新植を行う。
- ③ 水を十分含ませたポット苗を植え、あてで覆い、網で保護する。

(2) 樹種

シラカシ、アラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、ソヨゴ など

5 参加についてのお問い合わせ先

岡山県新見地方振興局 ☎0867(72)1177 内線315, 284, 205
岡山県民生労働福祉会館社説 ☎0862(42)471111 内線2743, 3163

阿新見 民生労働福祉会館
社説部
〒716-0001 岡山県新見市
電話 0867(72)1177



健康の森「千人1万本植樹祭」に2千人参加

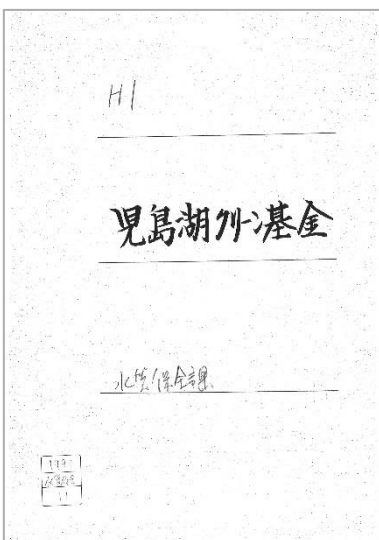
平成元年(1989)6月11日
公聴広報課引継写真1090

植樹祭には、子どもからお年寄りまで約2千人もの参加があり、常緑広葉樹のアラカシやシラカシなど1万5千本を園路沿い斜面約15,800㎡(11ブロック)に植えました。写真は地元の神郷小学校、新見北高校、新見女子短大の児童・生徒・学生たちが成長を楽しみに一緒になって植樹をしています。

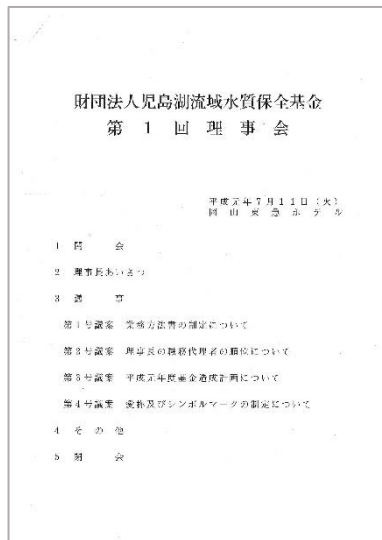
高松宮妃殿下がご来岡

平成元年(1989)6月22日
公聴広報課引継写真1520

高松宮妃殿下が6月21日にご来岡になり、翌22日に邑久町(現瀬戸内市)の岡山勤労者いこいの村で開かれた「貞明皇后・高松宮をしのぶ在園者慰問激励の会」にご出席されました。『グラフおかやま』7月号には同日と23日に国立療養所邑久光明園と長島愛生園をご慰問・ご視察された時の写真を掲載しています。



(簿冊表紙)



財団法人見島湖流域水質保全基金を設立

「見島湖クリーン基金」
平成元年度(1989)
公文書(1991/水質保全/11)

見島湖は生活排水などにより水質の汚濁が進んでいることから、流域における水質浄化の実践活動をするため、財団法人見島湖流域水質保全基金を立ち上げ、7月11日には第1回理事会(理事長:長野知事)を開催しました。

この基金は募金も含めて3年間2億2千万円で、流域各地で各種の水質浄化に関する事業に取り組むこととしています。

財団法人児島湖流域 水質保全基金第1回 理事会を開催

平成元年(1989)7月11日
公聴広報課引継写真1110

基金の設立後、初めての理事会で、業務方法書の制定、平成元年度基金造成計画、愛称及びシンボルマーク等を決定しました。併せて愛称「児島湖クリーン基金」及びシンボルマーク提案者への表彰式を行いました。



- 1 愛称
児島湖クリーン基金
- 2 シンボルマーク



中四国横断ギャザリング フェスティバルを開催

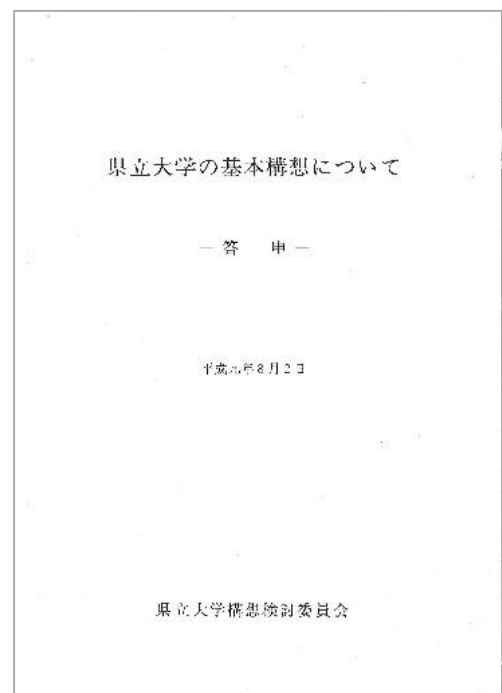
平成元年(1989)7月29日
公聴広報課引継写真1116

昭和63年4月開通した瀬戸大橋と平成元年3月に着工した中国四国横断自動車道で結ばれる中四国6県(島根、鳥取、岡山、香川、徳島、高知)の県民がふれあいと交流を深めるため岡山市に集まって大々的な祭典を行いました。そこでは県民性をテーマにしたシンポジウム、各地の踊りの競演そしてパーティ等多彩な行事を繰り広げています。

県立大学構想検討委員会が 基本構想を県に答申

「県立大学の基本構想(答申)関係資料」
平成元年度(1989)
公文書(1992/総務学事/96)

瀬戸内新時代を展望した県立大学のあり方を検討していた「県立大学構想検討委員会」は、8月2日基本構想を県に答申しました。そこでは短期大学部を併設した3学部の4年制大学とし、平成4年に18歳人口がピークに達することを念頭に置き、可能な限り早期の開学を目指すこと等の意見を述べています。なお、平成5年4月に開学しています。





吉備高原で車いすふれあいロードレース大会'89を開催

平成元年(1989)9月23日
公聴広報課引継写真1144

吉備高原で車いすランナーとランニングランナーが同じコースを走り、理解と友情を深めました。県内外から約300人の選手が参加しました。

中四国サミットを 広島市で初開催

平成元年(1989)10月18日
公聴広報課引継写真1159

長野知事が提唱していた中四国サミットが、初めて広島市で開催されました。会議では、中四国が相互に連携を深め、共通の課題解決に取り組むことが合意されました。



地域づくり全国交流会議 津山大会の開催

「地域づくり全国交流会議(津山大会)3」
平成元年度(1989)
公文書(1995/地域政策/13)

地域の活性化を推進することを目的に、国土庁・岡山県・津山市などが主催する「地域づくり全国交流会議津山大会」が、11月9日・10日の両日、津山市で開催されました。

全国から地域づくり関係者約500名が参加して、「語ろう！ 出会い ふれあい 今 未来」をテーマに、地域づくりの情報交換等を行いました。

分科会では、地元の岡山県から津山市が「津山国際総合音楽祭」、美星町(現井原市)が「美しい星の見える町」、久米南町が「川柳とまちづくり」について事例発表を行いました。

「津山国際総合音楽祭」は平成29年(2017)の第10回を最後に終了しましたが、美星町と久米南町の取組は現在もしっかりと続いています。

このリーフレットは、参加者を募集するため全国に配付したものです。津山市が大会実行委員会の事務局を担いました。

◆開催要領◆
 ▶主 題 「語ろう！ 出会い ふれあい 今 未来」
 ▶テーマ 「語ろう！ 出会い ふれあい 今 未来」
 11月9日(日) 10時～16時30分
 (1) 開会式(10時～10時30分) 地域づくりのアイディアコンテスト表彰式
 (2) 基調講演 (1) 国土庁長官 (2) 岡山県知事 (3) 津山市長 (4) 国土庁長官特別顧問
 (5) 分科会
 (6) 17時30分からふれあい交流会(懇談会)を開催します。
 11月10日(月) 9時～12時
 (1) 分科会報告
 (2) シンポジウム
 (3) 地域づくり全国交流会議実行委員会
 ▶参加費 無料(会場費、宿泊費は別) 津市駅周辺に泊る、泊り会場
 においでお願いします。
 主催 国土庁・岡山県・津山市・全国地域づくり推進協議会・津山モデル定住圏
 共催 岡山県・津山市・全国地域づくり推進協議会・津山モデル定住圏
 〒765-0801 津山市津山1-1-1 津山市民会館
 TEL.0868-33-9111(内線2384) FAX.0868-33-0252

会場案内図
 津山市内地図

地域づくり全国交流会議津山大会
 語ろう！ 出会い ふれあい 今 未来

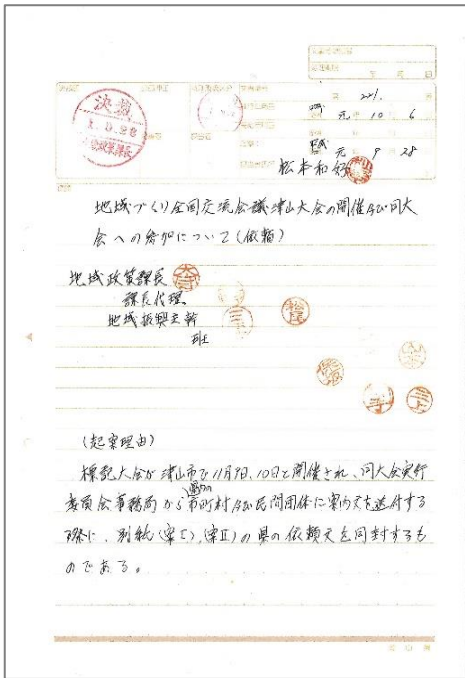
▲上巻 平成元年11月9日(日)・10日(月) ▲ところ 岡山県津山市・764-2-3810
 ▲主催 国土庁・岡山県・津山市・全国地域づくり推進協議会・津山モデル定住圏

<参考> 地域づくりが言われ出したのは、昭和54年(1979)に大分県の平松知事が「一村一品運動」を提唱した頃と考えられている。(次ページ続く)

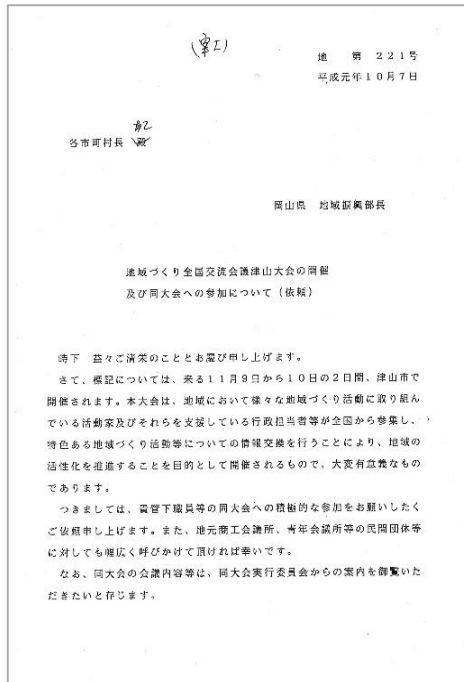
文化による地域づくりを目指した「津山国際総合音楽祭」は、昭和62年(1987)からほぼ3年おきに開いてきたが、集客低迷などにより平成29年(2017)の第10回を最後に終了した。

美星町には流れ星が落ちたという流れ星伝説があり、元々、「星の郷」として町づくりに取り組んでいたが、昭和63年(1988)に環境庁が「星空の街」に認定した。そして星空を守る機運が高まり、平成元年(1989)に全国に先駆けて光害防止条例を制定した。

久米南町の川柳は、「川柳によって新しい町づくりをしよう」と、昭和24年(1949)1月に弓削川柳社が発足したのが始まり。



(起案)



(送付文)

地域づくり全国交流会議津山大会への呼びかけ

「地域づくり全国交流会議(津山大会)1」

平成元年度(1989)公文書(1995/地域政策/11)

この起案文書は、岡山県の担当課である地域振興部地域政策課が、県内の各市町村長へ大会への参加を呼びかけるために作成したものです。

地域政策課長の決裁後、文書は地域振興部長名で各市町村へ送付されました。

トンネルを抜けるとそこは楽園だった。



おokayama食と緑の博覧会が開会

「おokayama食と緑の博覧会(平成元年度)に関する緑(笠岡湾干拓農業センター)」 平成元年度(1989) 公文書(1998/井笠地方振興局/118)

笠岡湾干拓地が24年の歳月をかけて完成したことを記念して、平成2年(1990)3月16日から4月15日までの31日間、「おokayama食と緑の博覧会」を同干拓地で開催しました。

広大な菜の花畑など花と緑がいっぱいの会場には、「食と緑、輝かしい生命の未来」をメインテーマに、テーマ館やふるさと館、バザール館などの6つのパビリオンが立ち並び、サンファーム(右へ)



(左の続き) (鉄骨ビニールハウス)、ふれあい動物村、プレイランド等が設置されました。

博覧会では「食と緑」の大切さを“食べて”“買って”“遊んで”などの体験を通じて理解するもので、目標の30万人を大幅に上回る約51万人が訪れました。

このリーフレットは、博覧会の開催をPRしたもので、テーマゾーンと企業ゾーンのイメージを紹介しています。干拓30年を経た今日、干拓地は野菜や果物の一大産地になっています。また多くの企業が立地し、観光地としても人気を誇っています。

<参考> 笠岡湾干拓地の着工は昭和 41 年(1966)12 月。完成は平成 2 年(1990)3 月。

所長	担当	主査	処理方法及び指示					
次長	小原	小西	藤原	石井	生活班長	横瀬	佐能	大田
班長	中西	三宅	青山	奥野	書記	<備考>		

おかやま食と緑の博覧会
いかさ村実行委員会
委員長 小寺 克 郎

おかやま食と緑の博覧会いかさ村オープニング
セレモニーについて (御案内)

春暖の候、貴職におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
おかやま食と緑の博覧会いかさ村の出展に対しましては、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
おかげさまをもちまして、いかさ村常設コーナーもいよいよ出展の運びとなりました。
つきましては、下記によりオープニングによるテープカットを実施いたしますので、御多用のところ恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえ御臨席賜りたく御案内申し上げます。

記

1 日 時 平成2年3月15日(木) 14時00分

2 場 所 岡山県笠岡市地先 笠岡湾干拓地内
おかやま食と緑の博覧会ふるさと館内いかさ常設コーナー

おかやま食と緑の博覧会 いかさ村オープニング セレモニーへの案内

「おかやま食と緑の博覧会に関する
綴(井笠農業改良普及所)」
平成元年度(1989)
公文書(1992/井笠地方振興局/82)

博覧会のふるさと館では、各地域が交代で出展し、展示・即売、実演、イベントなどを行いました。

地元の井笠地域からは、常設コーナーの「いかさ村」を出展し、いもがゆ、矢掛ぜんざいなどの郷土料理や昔なつかしい料理、豚の丸焼きなどの実演、体験、試食などを行いました。

この文書は、いかさ村実行委員会委員長から各委員へ送付したいかさ村オープニングセレモニーへの案内文です。受け付けた井笠農業改良普及所では文書を回覧し、確認をした職員が順次押印しています。

おかやま食と緑の 博覧会が笠岡湾 干拓地で開会

平成2年(1990)3月16日
公聴広報課引継写真2023

開会式では、博覧会関係者や来賓、地元の中学生在が参加してテープカットを行いました。



おかやま食と緑の 博覧会で会場パレード

平成2年(1990)3月16日
公聴広報課引継写真2023

開会后、会場入口からイベント広場までパレードを行いました。前列の桃をモチーフにしたぬいぐるみ「ももちゃん」は、博覧会のイメージアップのためのマスコットです。



八塔寺川ダムが完成

平成2年(1990)4月20日
公聴広報課引継写真2027

八塔寺川ダムが、12年の歳月をかけて和気郡吉永町（現備前市）に完成し、平成2年(1990)3月29日に竣工式を終えました。

このダムは災害を契機として建設された多目的ダムで、堤の長さは226m。東備地区の観光資源となっています。

<参考> 八塔寺川ダムは、昭和51年の台風による災害を契機とした金剛川総合開発事業の一環として建設された多目的ダム。

備前市は、八塔寺川ダム周辺を「水と緑のやすらぎゾーン」として「八塔寺川ダム公園」を整備している。サイクリングロードや石の彫刻が並ぶ広場、ダム湖上流には赤い吊り橋が架かっている。

古文書

当館では岡山県の記録を伝える公文書以外の記録資料を「古文書」として、民家などで保存されていた資料の寄贈・寄託などをうけ、収集しています。

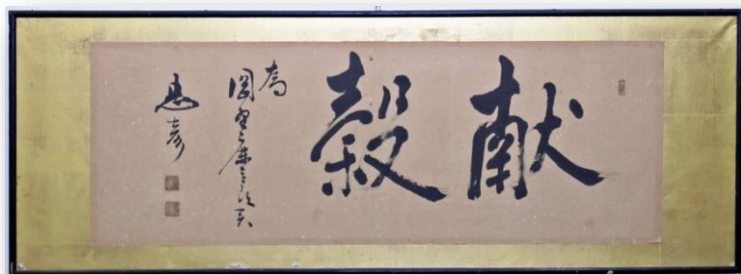
昨年度新たに目録整理し、データベースで目録公開した記録資料や、新たにデジタル化して当館ホームページから高精細画像を公開した絵図資料の中から、近世資料6点、近代資料4点を厳選して展示します。

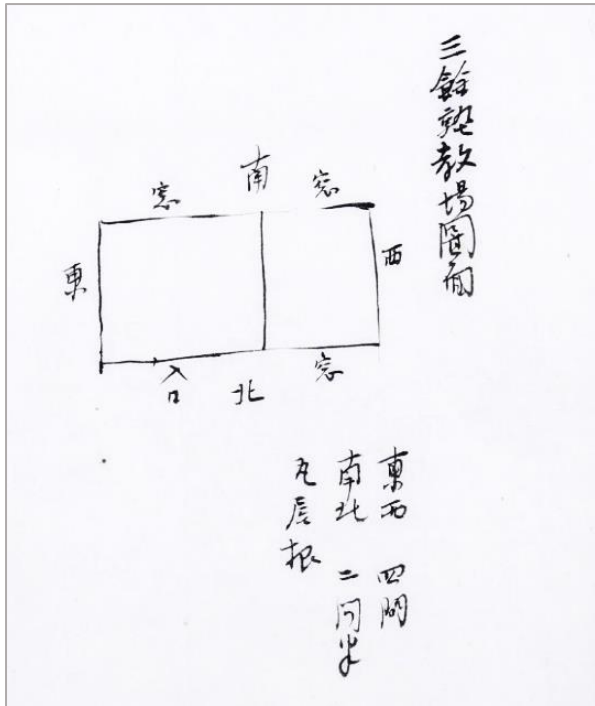
岡山県からの献穀

昭和3年(1928)
元衆議院議員岡田忠彦扁額(B261-1)

昭和3年1月に赤坂郡高陽村（現赤磐市熊崎）の岡野鹿三郎の田が岡山県を代表して大嘗祭（だいじょうさい）供御新穀齋田に選定されました。これを記念し、当時岡山県選出の衆議院議員岡田忠彦より贈られた扁額です。

令和の改元を機に当館へ寄贈されました。





教場図面

以下の3つの学科がありました。

- 1 論語・孟子などの四書（修身学科）
- 2 史記や春秋左氏伝（歴史学科）
- 3 文章軌範（文章学科）



在りし日の三余塾

明治の人材を育成 “三余塾”の記録

明治14年(1881)12月28日「従来開業之私立学校開申」(B255-3)

都宇郡山地村（現倉敷市山地）で犬飼松窓（源三郎）が当時の岡山県令高崎五六に提出した三余塾の届写です。名称、位置、教則、入学生徒ノ数（男子45人）、入学生徒ノ年齢（16以上40以下）、教科書の一覧、教場図面（4間×2間半）などを記載しています。

ここで犬養毅や林醇平、大原孝四郎を始めとした近隣の多くの青年が学びました。

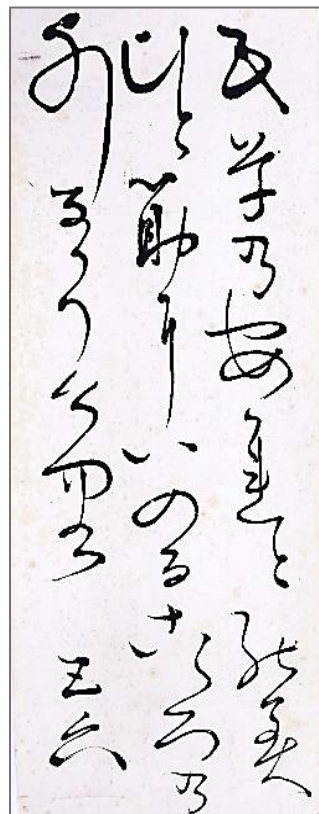
高崎五六の和歌

年代未詳（B255-30）

岡山県の初代県令高崎五六の和歌です。在任期間は明治8年(1875)～17年で、地租改正を始めとした果敢な政策で知られています。

民草の安かれのみ
ひと筋にいのるころの
外なかりけり 五六

とあるこの和歌からは、「鬼県令」と称されてきた五六のイメージとはまた違った一面がうかがえます。



民草の安かれのみ
ひと筋にいのるころの
外なかりけり
五六

戦時下の山陽高女生徒

昭和16年(1941)3月
「思ひ出」(B258-5)

山陽高等女学校(5年制)の家政専攻科(2年制)卒業生のアルバムに綴じられていた写真です。学校誌には昭和9年(1934)6月から紺セーラーにオリーブグリーンネクタイを付けたとありますが、この写真では白色のネクタイをしています。

生徒が旭川沿いを散策する傍らには空襲で焼失する前の岡山城が見えます。卒業生のご子孫より寄贈を受けました。



旭川沿いを歩く



生け花の授業



茶道の授業 左端に上代淑校長の姿が見える



割烹の授業



薙刀の授業

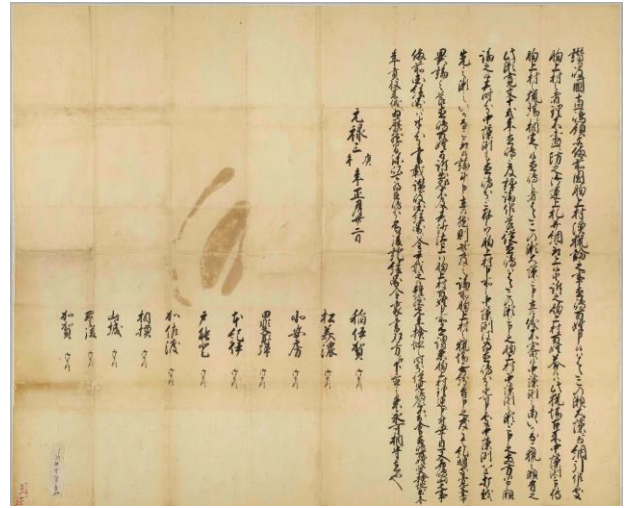
元禄3年(1690)の備讃国境

〔讃岐国直島領と備前国児島郡胸上村
と漁場論石島山御裁許御裏書絵図〕
(原寸169.1×141.5cm、A85-4)

備前国児島郡胸上村(現玉野市胸上)と讃岐国直島(現香川県)の間でおこった漁場争論の幕府裁許を記した絵図です。

現在の香川県との県境は石島山の稜線ですが、元禄3年の裁定では石島全体が直島領、いかなご漁の漁場であった中藻洲は備前領とされました

令和元年度に複製・デジタル化をし、高精細画像をHPで新たに公開しました。



裏書



嘉永5年(1852)の大洪水

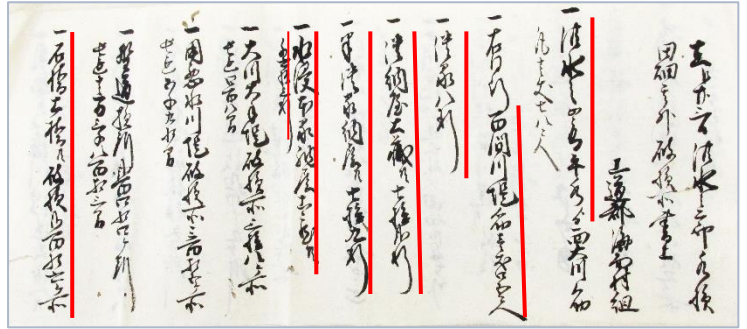
「去ル廿二日夕大風雨洪水ニ付百間川堤切損水押破損其外品々模様書上帳」(C19-109)

8月22～23日の大風雨による洪水は、岡山・京橋の増水位が1丈7～8尺(約5.76m)と、承応3年(1654)を上回る高水位を記録しました。

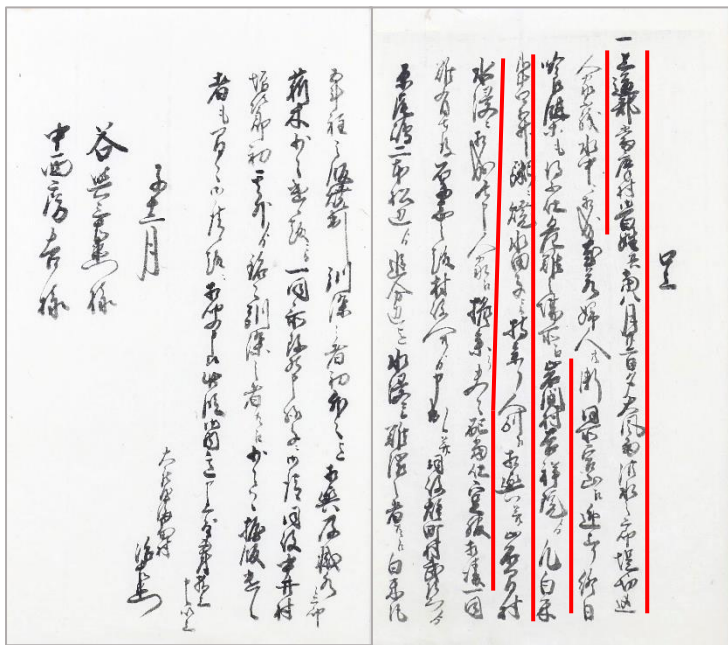
この資料は百間川沿いの27ヶ村の被害状況を書き上げたものです。百間川の水嵩は平常より1丈4～5尺(約4.5m)高く、全壊家屋80軒、半壊79軒、水浸1063軒、橋梁破損216ヶ所と甚大な被害状況を記録しています。



参考：上道郡海面村組 27ヶ村の所在
(岡山県村地図[明治18年]を加工)



- 去ル廿三日洪水之節水損
田畑其外破損所書上
上道郡海面村組
- 洪水之嵩平水より西大川筋
凡老丈七八尺
- 右同断百間川堤筋老丈四五尺
- 潰家 八軒
- 潰納屋土蔵共 七拾貳軒
- 半潰家納屋共 七拾九軒
- 水没本家納屋土蔵共
千六拾三軒
- 大川大手堤破損所 三拾八ヶ所
- 長延四百八間
- 用悪水川堤破損所 三百拾五ヶ所
- 長延五千九拾間
- 野道損所 貳百四拾四ヶ所
- 長延老方三千八百拾三間
- 石橋土橋共破損 貳百拾六ヶ所
(後略)



炊き出しの記録

嘉永5年(1852)12月
「御内意存寄書」(C19-305)

8月22日の大洪水の際、百間川筋の岩間村(現岡山市中区米田)吉祥院が、水浸により村人全員が背後の宮山へ逃げていた当麻村と、一部水浸のあった岩間村へ担桶(たご)を使って粥2斗4～5升を配りました。

この資料は同年12月に当該地域の大庄屋を務めていた小西治右衛門から岡山藩郡奉行・郡目付へ届出られた際のもので

口上
一 上道郡当麻村御百姓共当八月廿二日夕大風洪水之節堤切込
人家不残水中ニ相成、老若婦人共漸同所宮山江逃上り、終日
喰餌等も得不仕、危難之場所江岩間村吉祥院より凡白米
貳斗四五升粥ニ焼、水田子ニ持参り、人別江相与并岩間村
水浸ニ相成居申人家江担参り、夫々配当仕、空腹相凌一同
難有奉存厚志之趣、村役人共より申出候、并同役雄町村武左衛門より
原尾島二本松辺より追分迄水浸ニ而難洪之者共江白米凡
五斗程之飯焼出し馴染之者初外々迄相与、及減水之節
薪木少々遣候趣ニ而、一同忝致居申様子ニ御座候、同役中井村
増次郎初其外より銘々馴染之者共江少々、握飯遣候
者も間々御座候趣ニ相聞申候、此段御内意申上度書付指上
申候以上
大庄屋海面村
治右衛門
谷与三右衛門様(岡山藩郡奉行)
中西房吉様(岡山藩郡目付)
子十二月
(後略)

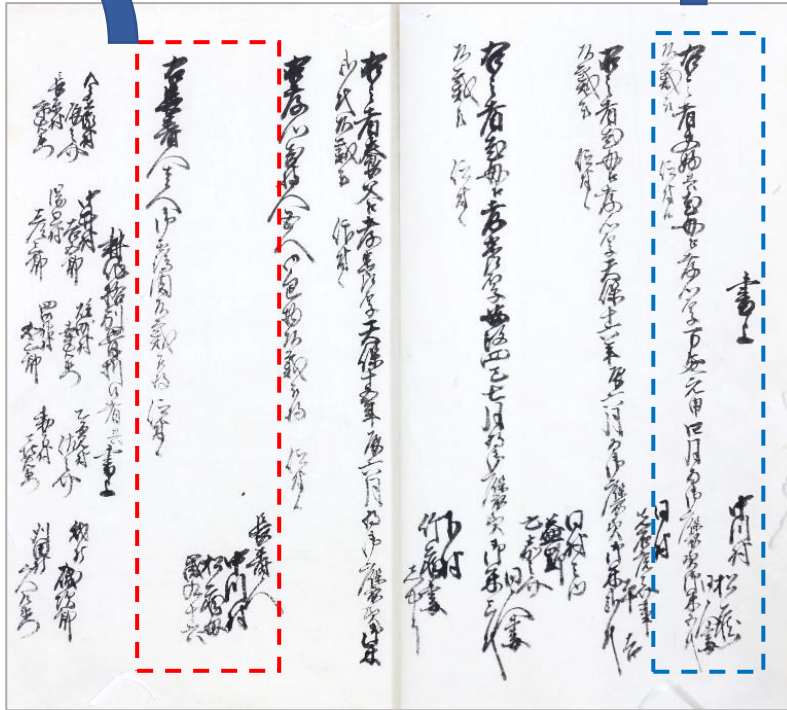
【参考】上の書上帳による被害状況

当麻村		岩間村	
潰納屋土蔵共	19 軒	潰家	1 軒
半潰本家	23 軒	潰納屋	5 軒
水没本家納屋共	9 軒	水浸本家	15 軒
土橋破損	6 ヶ所		

右之者夫婦共老母江孝心厚万延元申四月為御褒美御米五俵頂戴被仰付候

書上

中川村 松蔵
同人妻



右長寿人老人御鶴肉頂戴被為仰付候

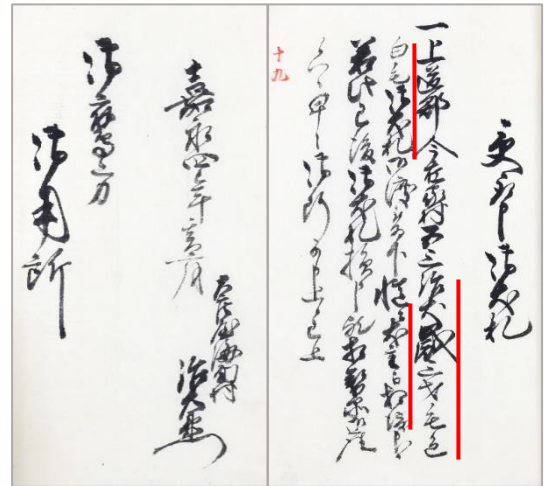
長寿人
中川村 松蔵母
歳九十六

藩から鶴肉をもらった 長寿の女性

元治2年(1865)1月
「諸書上帳」(C19-204)

上道郡中川村(現岡山市東区中川町)松蔵の母が96歳の長寿を褒賞され、藩から鶴肉を頂戴するように仰せ付けられた記録です。

一緒に住んでいた松蔵夫婦には5年前に「孝心」が厚いことの褒美として米5俵が下賜され、それ以後、毎年「養老御銀札」を拝領していました。



受取申御犬札

一上道郡今在家村五三治犬歳三才毛色白毛御犬札御渡被為下、慥ニ犬主江相渡申候若此已後御犬札損申敷、相替品御座候ハ、早々御断可申上候、已上

嘉永四年亥二月

大庄屋海面村

治右衛門

御鷹方
御用所

犬札

嘉永4年(1851)2月「組合村々役人諸書付并注進類其外品々留」(C19-301)

上道郡今在家村(現岡山市中区今在家)の五三治に岡山藩御鷹方御用所から「御犬札」が渡されました。五三治は3才の白犬の飼主でした。

今在家村近くの龍之口山は岡山藩の御留場の一つで、藩主の狩猟場であったため、近隣村から狩引入れ(『藩法集1岡山藩上』570頁)の犬を遣わすこととなっていました。

全国的には鷹の餌を確保するために犬を飼うことが定着したという説もあります。

◎令和元年（2019）6月1日～令和2年（2020）5月31日までにホームページで
目録を公開した資料

○公文書 2,447件（平成元年度完結資料2,179件） ○公聴広報課引継写真 2,474件
○古文書 1,259件 ○複製本 1,123件

〔古文書の資料群解題〕

資料群名	請求番号	件	備考
岡山県内の絵葉書（追加）	A00073	83	陸軍特別大演習岡山県記念（行在所後樂園、豪溪、吉備津神社、作樂神社、津山城址など、明治43年）、明治天皇御大葬（大正元年）など。
岡山県内市街地図・郡地図（追加）	A00075	2	岡山市全図（昭和7年）など。
岡山県の行政刊行物（追加）	A00098	3	青少年基本調査報告書（昭和37年）など。
2019年度収集諸資料	A00102	16	赤坂郡土師方村で特選議者佐藤左雄太（のちに土師方村副戸長）が作成した、岡山藩議院関係の村方議会資料（明治3年10～12月）、昭和34年度笠岡湾干拓地区調査計画書など。
江原氏収集新聞号外（追加）	B00096	7	山陽新聞2019年4月1日付号外「新元号 令和」、2019年8月5日付号外「渋野メジャー制覇 全英女子OPゴルフ 日本勢42年ぶり快挙」など。
松本学関係資料	B00108	669	関西学園図書館に所蔵されていた内務省警保局長・貴族院議員・日本文化中央連盟常務理事時代などの松本学関係文書。
土岐氏伝存資料（追加）	B00211	3	町村合併一覧表（昭和31年）など。
長代氏収集資料	B00255	30	都宇郡山地村で「三余塾」を經營した犬飼松窓に関連する資料が中心。（2点展示中）
文政十二丑年八丈嶋之者暹羅国江漂着之始末聞書之写	B00257	1	文政12年の漂流者の聞書を写した冊子
山陽高等女学校卒業記念帖ほか	B00258	6	昭和14年3月の山陽高等女学校卒業記念帖、昭和16年3月専攻科卒業アルバム「思ひ出」（展示中）、関連写真など。
都宇郡新庄上村絵図	B00259	1	大区小区制のとられていた明治6～9年間に作成された絵図（187×430cm）
元衆議院議員岡田忠彦扁額	B00261	1	展示中
妹尾氏収集宇高四国フェリー資料	B00265	4	令和元年12月16日、109年の歴史を持つ宇高連絡船（四国急行フェリー）が休止する直前の往復乗船券、時刻表、乗船記念スタンプなど。
上道郡海面村小西家資料（整理継続中）	C00019	433	上道郡海面村組の大庄屋を務めていた小西家の資料。（5点展示中）
合計		1,259	

第78回所蔵資料展「新公開資料」展示資料目録

会期: 令和2年6月2日～8月8日 岡山県立記録資料館

	番号	資料名・内容	年代	資料群名等	資料番号
公文書	1	健康の森「千人1万本植樹祭」プレス発表	平成元年度(1989)	公文書「健康の森 植樹祭」	1992/阿新局/99
	2	財団法人児島湖流域水質保全基金を設立	平成元年度(1989)	公文書「児島湖クリーン基金」	1991/水質保全/11
	3	県立大学構想検討委員会が基本構想を県に答申	平成元年度(1989)	公文書「県立大学の基本構想(答申)関係資料(高等教育整備対策室)」	1992/総務学事/96
	4	地域づくり全国交流会議津山大会の開催	平成元年度(1989)	公文書「地域づくり全国交流会議(津山大会)3」	1995/地域政策/13
	5	地域づくり全国交流会議津山大会への呼びかけ	平成元年度(1989)	公文書「地域づくり全国交流会議(津山大会)1」	1995/地域政策/11
	6	おかやま食と緑の博覧会が開会	平成元年度(1989)	公文書「おかやま食と緑の博覧会(平成元年度)に関する綴(笠岡湾干拓営農センター)」	1998/井笠地方振興局/118
	7	おかやま食と緑の博覧会 いかさ村オープニングセレモニーへの案内	平成元年度(1989)	公文書「おかやま食と緑の博覧会(平成元年度)に関する綴(井笠農業改良普及所)」	1992/笠地方振興局/82
	8	おかやま食と緑の博覧会公式記録	平成2年度(1990)	行政刊行物「おかやま食と緑の博覧会公式記録」	農林部その他/1990/14
	9	岡山県総合畜産センターがオープン	平成元年(1989)4月14日	公聴広報課引継写真	1051
	10	健康の森「千人1万人植樹祭」に2千人参加	平成元年(1989)6月11日	公聴広報課引継写真	1090
	11	高松宮妃殿下がご来岡	平成元年(1989)6月22日	公聴広報課引継写真	1520
	12	財団法人児島湖流域水質保全基金第1回理事会を開催	平成元年(1989)7月11日	公聴広報課引継写真	1110
	13	中四国横断ギャザリングフェスティバルを開催	平成元年(1989)7月29日	公聴広報課引継写真	1116
	14	吉備高原で車いすふれあいロードレース大会'89を開催	平成元年(1989)9月23日	公聴広報課引継写真	1144
	15	中四国サミットを広島市で初開催	平成元年(1989)10月18日	公聴広報課引継写真	1159
	16	おかやま食と緑の博覧会が笠岡湾干拓地で開会	平成2年(1990)3月16日	公聴広報課引継写真	2023
	17	おかやま食と緑の博覧会で会場パレード	平成2年(1990)3月16日	公聴広報課引継写真	2023
	18	八塔寺川ダムが完成	平成2年(1990)4月20日	公聴広報課引継写真	2027
古文書	19	元衆議院議員岡田忠彦扁額「献穀」	昭和3年(1928)	元衆議院議員岡田忠彦扁額	B261-1
	20	従来開業之私立学校開申	明治14年(1881)12月28日	長代氏収集資料	B255-3
	21	高崎五六和歌	年代未詳	長代氏収集資料	B255-30
	22	思ひ出	昭和16年(1941)3月	山陽高等女学校卒業記念帖ほか	B258-5
	23	讃岐国直島領と備前国児島郡胸上村と漁場論石島山御裁許御裏書絵図	元禄3年(1690)1月22日	石島山国境争論関係資料	A85-4
	24	去ル廿二日夕大風雨洪水ニ付百間川堤切損水押破損其外品々模様書上帳	嘉永5年(1852)8月	上道郡海面村小西家資料	C19-109
	25	御内意存寄書(善事口上)	嘉永5年(1852)12月	上道郡海面村小西家資料	C19-305
	26	諸書上帳(疫病流行ニ付御内意書上)	安政6年(1859)8月	上道郡海面村小西家資料	C19-213
	27	諸書上帳(長寿褒賞)	元治2年(1865)1月	上道郡海面村小西家資料	C19-204
	28	組合村々役人諸書付并注進類其外品々留(犬札)	嘉永4年(1851)	上道郡海面村小西家資料	C19-301